

現代アートの奥深さにもっと近づこう！ アートの学校「MAD」2010年4月開講

－ 2010年度は新たにオンラインで学べる講座 E-MAD が誕生！－



- ▶ 最新の現代アートについて社会学や哲学思想を通して学ぶことで、様々な世界の見方が身につく。
- ▶ アーティストや美術館館長、建築家などのゲスト講師陣により、現場の声を聞くことができる。
- ▶ 無料説明会「MAD オープンデー」で、コース概要とクラスルームの環境を知ることができる。
- ▶ 初のアートのオンライン講座、E-MAD で時間や場所に限定されずアートの基礎が学べる。
- ▶ 基本コース、集中講座、E-MAD など、コースを組み合わせることで知識を補完できる。

MAD (Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見てみよう)は、NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト]が 2001 年に開講した、現代アートを考える学校です。

「美術館やギャラリーで目にする作品について詳しく知ってみたい。」「アートの創造性を自身の社会生活に活かしてみたい。」あるいは「知識を身につけて、ゆくゆくはアート界で働いてみたい。」など、アートへの関わり方や楽しみ方はさまざまです。MAD では、そうした小さなきっかけから、更に深くアートの世界を掘り下げてみたい方々に向けて、『見る』から『考える』、そして『活かす』までの、知的好奇心に応える幅広いプログラム作りを行っています。

開講 10 年目を迎える 2010 年度は、基本 4 コースと、短期間で専門的な知識を学べる 6 つの集中講座に加え、新たにアートの基礎をオンラインで学べる E-MAD を開講します。基本コースでは、これまでのキュレーションのコースを一新し、理論と実践が同時に学べる「キュラトリアル・スタディーズ」が誕生します。各コースのレクチャーでは、美術館の館長やギャラリスト、アートフェアのディレクター、アーティストなどの専門家をゲスト講師に招き、さまざまな学問分野からより多角的に、深く、体系的に現代アートを考察します。コース修了生には、美術館やギャラリーで働いたり、フリーランス・キュレーターとして企画を行うなど、アート界の仕事に携わる人々がいるほか、社会人の修了生の多くが、MAD で学んだアートの知識や経験を仕事に活かしています。

※ 4 月のコース開講にあたり、1 月 29 日 (金)、2 月 19 日 (金) と 3 月 5 日 (金) には、全コースの無料説明会「MAD オープンデー」を開催します。また、基本コースと集中講座のお申込み受けは、2010 年 2 月 1 日より開始します。すべてのコースの詳細については、AIT のホームページ <http://www.a-i-t.net> をご覧ください。

つきましては、2010 年度の MAD について、是非貴媒体にてご紹介頂きたく、告知広報方ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

[取材に関するお問い合わせ]

NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト] 担当) 堀内奈穂子
150-0033 東京都渋谷区猿樂町 30-3 ツインビル代官山 A-502 URL: <http://www.a-i-t.net>
E-mail: office@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266

▶ MAD コース内容

基本4コース 4月(春期)開講講座

- ・キュラトリアル・スタディーズ “現代アートの発信力をつける！” **New!**
[2010年4月開講/12ヶ月コース]
- ・アート+コミュニケーション “現代アートの基礎を3つのテーマで学ぶ”
[前期2010年4月/中期9月/後期2011年1月開講/前・中期4ヶ月、後期3ヶ月コース]
- ・アーティスト “アーティストになるための考え方を鍛える”
[2010年4月・9月・2011年1月開講/各3ヶ月コース]
- ・マガジン “世界のアートシーンを自分のものにする”
[2010年4月・9月・2011年1月開講/各3ヶ月コース]

集中講座

1日あるいは2日間で特定のテーマについて掘り下げる講座。現代アートをより深く理解するため、アートに深く関係するさまざまな学問領域である芸術理論、アジアの近代、現代思想、写真、ジェンダーをテーマに、6つの講座を開講します。

E-MAD 5月開講(予定) **New!**

2010年5月に開講予定のアートの基礎をオンラインで学べるコースです。20世紀におけるアートの進化を1900年から1年ずつ丁寧に紐解いてゆく「1900年以降のアートの歩み」と、世界のアートシーンから注目の話題を取り上げる「現代アートの最前線」の2コースを開講します。MADで学んだ知識を補完するコースです。

▶ MAD 受講生のデータ

学生と社会人の割合：学生30% 社会人70%

学生：美術系大学、一般大学（公立、私立）、専門学校

職業：銀行、証券、保険、金融、シンクタンク、建築、デザイン、服飾、広告、美術、出版、印刷、食品 他

年齢の幅：19才～82才 *特に、20代後半から30代前半の女性が多い。

受講の理由

- ・現代アートの基礎をしっかりと勉強してみたい。
- ・アートから学ぶ独創的なアイデアを、仕事における企画やプロジェクトに活かしたい。
- ・将来的にギャラリーや美術館、アート・フェアなど、アートの分野で仕事をしたい。

修了生の声

現代アートのみならずカルチュラル・スタディーズや現代思想、哲学にも興味を持つようになりました。また、アートについて話せる友達ができ、一昨年は大学で美術史を学ぶかわら初めて展覧会制作を行いました。今年からアート教育と社会貢献のプロジェクト立ち上げのために大学の学術研究員として渡米しています。(50代/女性)

受講時：ファンドマネージャー/現在：ハーバード大学 学術研究員(米国)

MADの授業で、型にはまらない様々なキュレーティングの事例に触れることで、漫然と環境に身を置くのではなく、自ら仕事をつくり出す努力をしたり、プロジェクトに取り組む際に新しい価値観を提示できるよう意識することができるようになったと思う。(20代/男性)

受講時：アルバイト/現在：アート・プロデューサー、財団法人東京都歴史文化財団東京文化発信プロジェクト室勤務

▶ 現代アートを面白く読み解き、伝える MAD コース・ディレクター

コース・ディレクター

小澤慶介 (AIT)：1971年生まれ。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジにて美術史の修士号を取得。ビデオアートのグループ展「dreaming bodies -夢みる身体-」(2005)などを企画。アートフェア東京アソシエイト・ディレクター、女子美術大学非常勤講師、慶應義塾大学非常勤講師。(写真右)

ロジャー・マクドナルド (AIT)：1971年生まれ。イギリスのケント大学にて、美術理論博士号を取得。1998年より、インディペンデントキュレーターとして、国内外で数々の小規模な展覧会を企画。武蔵野美術大学非常勤講師、女子美術大学非常勤講師、第1回シンガポール・ビエンナーレ(2006)キュレーター。

